



学校だより

令和元年 10月31日
練馬区立田柄第二小学校
校長 谷田 弘子

HP <http://www.tagara2-e.nerima-tky.ed.jp> e-mail info@tagara2-e.nerima-tky.ed.jp

教育目標: 元気な子ども・考える子ども・思いやる子ども

No.501

世界都市農業サミット開催

副校長 横尾 康幸

来る11月29日(金)から12月1日(日)にかけて、練馬文化センター、区民・産業プラザ(Coco neriホール)等が会場となって「世界都市農業サミット」が開かれます。近隣の畑にサミットの旗が立てられていたり、公共施設にポスターが貼られていたりしているので、開催をご存じの方が多くいらっしゃるのではないかと思います。

現在、練馬区内には、215.6ヘクタールの農地があり、東京23区内にある農地の約40パーセントに当たります。2位の世田谷区(104.9ヘクタール)と比べても約2倍の広さになり、群を抜いているといえるでしょう。このように練馬区では、都心近くに立地しながら、市民生活と融合した農業がさかんに営まれています。今回のサミットは、こうした都市農業の魅力と可能性を世界に発信し、参加都市の方々とともに都市農業の在り方を考え、さらなる発展に寄与していくことをねらいとして開かれます。ニューヨーク、ロンドン、ジャカルタ、ソウル、トロントの5都市が招聘されて参加する予定とのことです。

ここで田二小に目を転じてみましょう。田二小の周りにも、農地が広がり、子供たちは様々なかかわりをもっています。元PTA会長さん方を中心にご支援をいただき、田二小ならではの特色的な学習ができたり、学校の環境が整えられたりしています。

吉田照男さん

職員玄関や西門の花壇に、季節ごとにきれいな花が植えられていますが、それらのお花を寄付してくださっています。登校してきた子供たちや、本校に用事があるいらっしゃるお客様方の目を楽しませてくださっています。

吉田和生さん

3年生が総合的な学習の時間で、練馬大根の栽培・収穫・たくわん作りの体験をさせていただいてい

ます。社会科の授業でも見学にご協力いただいています。また、食育の一環で、吉田さんの畑で1・2年生が枝豆や空豆の収穫、5年生がトウモロコシの収穫をし、その日の給食で食べる活動をしています。

上野正巳さん

4年生の3学期から5年生の1学期にかけて、子供たちがサツキの盆栽作りの体験で、様々なご指導をいただいています。また、毎年、5月には、職員玄関にたいへん立派なサツキの盆栽を展示してくださっています。

その他、毎年、1・2年生の子供たちに、七夕飾りに使う笹を提供してくださっている盆栽農家の方もいらっしゃるし、毎年、卒業を間近に控えた6年生が記念の餅つきを行う際には、地域の方々が、粘り気の少ない米を「千本つき」という方法で餅にしていたという、田柄地域に伝わる昔の人々の知恵を紹介し、子供たちに体験させてくださっています。

再び、話題を世界都市農業サミットに戻しましょう。ここでは、国際会議という場だけでなく、子供たちや保護者の皆様方が楽しめるイベント(「ねりマルシェ」～採れたての野菜や果物、花や料理の販売がある。「ねりまワールドフェスティバル」～世界の料理を味わいながら、民族舞踊や楽器演奏が楽しめる。「練馬大根引っこ抜き競技大会」練馬大根を引き抜く早さを競う。他)がたくさん用意されているそうです。

本校の和太鼓クラブもイベントに参加します。12月1日(日)の14時30分から、練馬文化センター前の広場(つつじ広場)で演奏するそうです。

練馬という地域の特色や食の在り方を再認識する一機会として、あるいは、世界の国々を知る一機会として、お出かけしてみたいいかがでしょうか。